

# マイバッグ普及に関する 検討報告書

平成15年5月

久喜宮代衛生組合マイバッグ普及検討委員会

# 目 次

1 . 目 次	
2 . はじめに	・・・ 1
3 . 調査結果より	・・・ 3
4 . 実態と推測	・・・ 6
<実態>	
ごみ排出時のレジ袋使用調査	
<推測>	
1世帯あたりのレジ袋使用枚数	
レジ袋の年間使用量	
1人あたりのレジ袋使用枚数	
参考	
豆知識 1、2、3	
不要なレジ袋は？	
レジ袋の削減量	
5 . 検討結果	・・・ 14
6 . レジ袋を削減すると...	・・・ 16
7 . 委員会の経過	・・・ 17
活動経過	
委員名簿	

## 添付資料

- (1) 普及促進グループのまとめ  
    「マイバッグ普及促進に関するまとめ」
- (2) レジ袋実態調査グループのまとめ  
    「レジ袋及びマイバッグ等に関する実態調査のまとめ」

## はじめに

主要な資源の大部分を輸入に依存している我が国において、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済構造から、私達の身の回りにある様々な製品は、低価格で種類も豊富になり生活の利便性は向上しましたが、最終的には全てごみになります。このような大量のごみを発生させる社会と環境に与える負荷をできるだけ小さくするために、国は循環型社会形成基本法を始めとした、数々のリサイクル法を定めごみ減量・リサイクルの向上に向け、数々の施策を実施しています。

このような状況の中、全国の自治体のごみの減量化とリサイクルの推進にさまざまな方策により取り組んでいます。結果としてリサイクル率については年々増加していますが、ごみ総量は方策に反して増加傾向にあります。

久喜宮代衛生組合においても、平成7年度から「げんりょう（原料・減量）化大作戦」を展開して、減量とリサイクルに取り組んでいます。リサイクル率については年々成果の向上が見られるものの、ごみ総量については近年微量ではあるが増加傾向にあるようです。

このような中、私達『マイバッグ普及検討委員会』は、ごみ減量化の一方策として、「マイバッグの普及によるレジ袋の削減」について調査検討するために発足し、「普及促進グループ」と「実態調査グループ」に分かれ、互いに協力しながら検討を重ねてきました。

消費者は、商店等から提供されるレジ袋を「いつでもどこでも手軽で買物ができ便利な物である」と考えており、このレジ袋の配布という行為が生活に定着し始めてから、消費者の生活はとても便利になりました。

しかし、このレジ袋は便利な反面、家庭生活にごみとして持ち込まれ、処理することで環境に負荷を与え、またその処理に莫大な労力と経費を要している現実もあります。

ごみの減量は、身近なところから、またできることから行動を起こすことが、ごみを作らない生活スタイルへと続くものと思われ、自治体等が押し付けるのではなく、商店や消費者自らが行動を起こさなければ長続きしないと考えられます。そこで、どのように啓発等を行ったらよいか、実態調査の結果及び他団体が実施した内容等を参考とし、検討した結果をまとめましたので報告いたします。

このまとめはあくまでもはじめの一步であり、今後マイバッグの普及を消費者の皆様に深く根付かせていくためにも、このまとめを活用いただき、レジ袋の削減及びマイバッグの普及活動の一助になればと思っております。

最後に、報告書作成にあたり、実態調査等にご協力いただきました消費者の皆様方と商店の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成15年5月

## 調査結果からの考察

「レジ袋及びマイバッグに関する実態調査報告書(別添参照)」から、現在のマイバッグに関する“認識度”“利用度”“意識度”の3点について考察を行いました。

レジ袋とは、『買物をした際に渡されるビニール等でできた袋』をいいます。

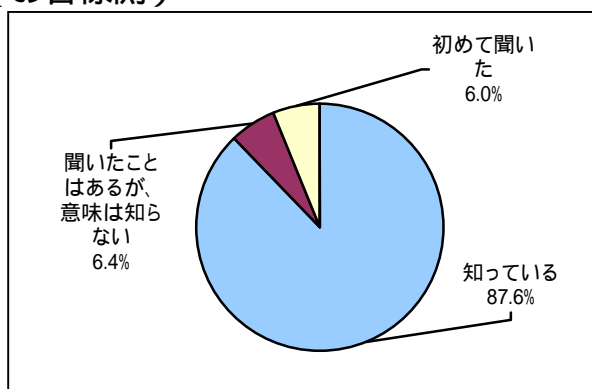
### “認識度”

マイバッグ(買物袋)という言葉に対し、どの程度の認識があるのかを調査しました。

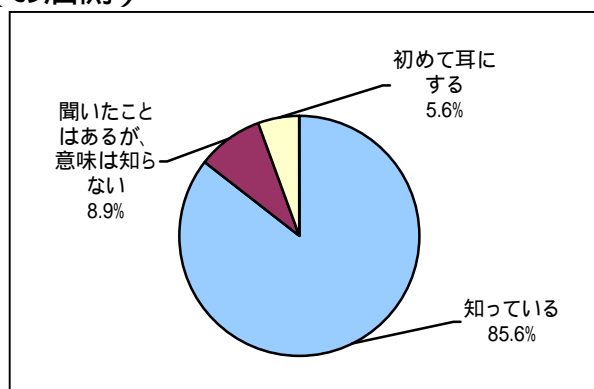
調査内容：『「マイバッグ(買物袋)」という言葉を知っていますか』

#### 【管内のアンケート調査結果】

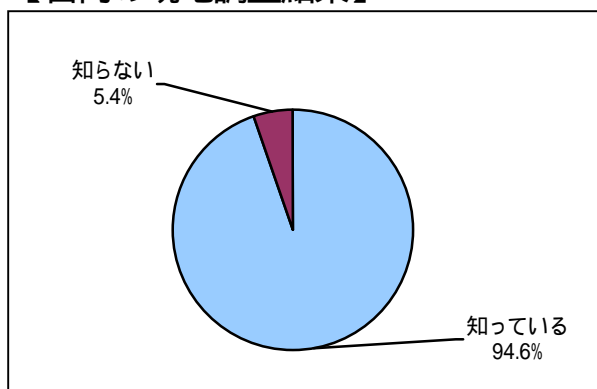
(お客様側)



(お店側)



#### 【管内の現地調査結果】



「マイバッグ」という言葉は、お客様側においても、お店側においても、ほとんどの人が一度は耳にしているようですが、「言葉は知っていても、意味がわからない」という人が約1割程度見られました。しかし、「マイバッグ」という言葉でなく、「買物袋」という言葉に言い換えると理解いただける人もいました。

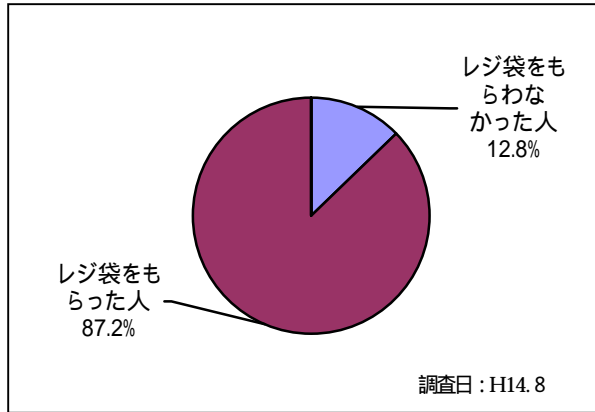
このことから、最近レジ袋の削減に伴うマイバッグの持参運動等を、スーパーなどでよく目や耳にするためか、『マイバッグ(買物袋)』という言葉は、概ね浸透しているものと考えてよいと思われます。

## “ 利用度 ”

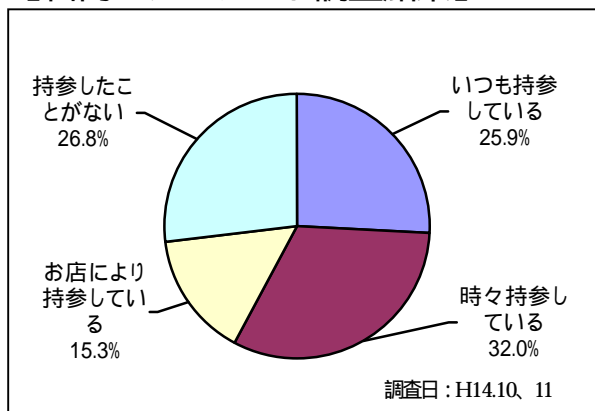
マイバッグ（買物袋）を実際どれくらいの人が利用しているのかを調査しました。

調査内容：『「マイバッグ（買物袋）」を持参していますか』

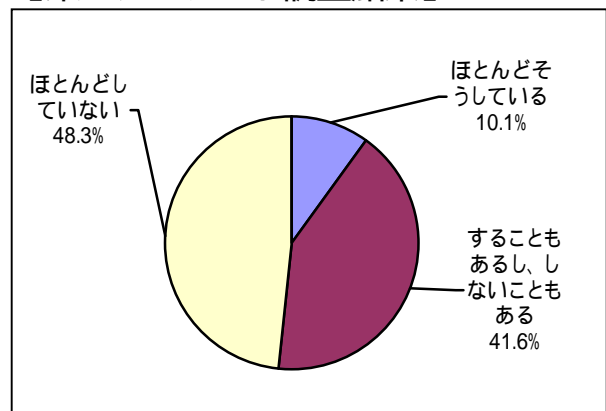
### 【管内の現地調査結果】



### 【管内のアンケート調査結果】



### 【県のアンケート調査結果】



レジ袋は、「お店でもらえることが当たり前」と考えられているためか、マイバッグをいつも持参している人は少ないようです。

また、時々持参している（＝することもあるし、しないこともある）と回答された人の中には、「レジ袋が有料だから」「サービスが受けられるから」など負担や利益を受けるお店については持参をしているようです。

調査結果を比べてみても、アンケート（「管内のアンケート調査」「県のアンケート調査」）結果に比べ、現地調査（「管内の現地調査」）では、レジ袋をもらわなかった人が約1割しかいなかったことがわかります。

このことから、お店側が呼び掛け（キャンペーン）等を行っている風景が見られるものの、実際のマイバッグ（買物袋）の持参率については、1割程度であると思われる。

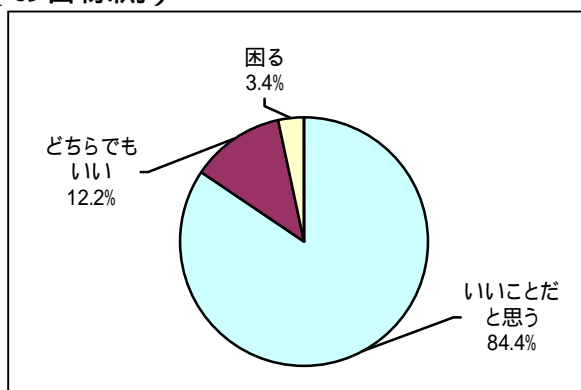
## “ 意識度 ”

マイバッグ（買物袋）の普及に伴い、レジ袋の削減についてどのような認識をもっているかを調査しました。

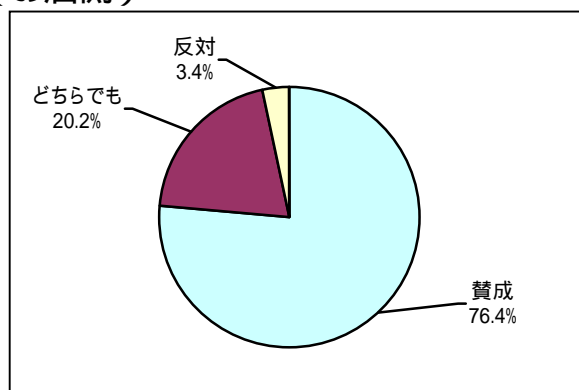
調査内容：『レジ袋を減らすことについてどう思いますか』

### 【管内のアンケート調査結果】

（お客様側）



（お店側）



レジ袋は、「便利であり、都合が良いものである」との認識がある中、現在のレジ袋のあり方について、考え直し始めている傾向が見受けられます。

お客様は「必要な物であるがもらいすぎるとごみになる」、またお店側は「経費削減やごみの減量対策等の効果がある」などの理由からレジ袋の削減については概ね理解を得られるようです。

しかし、レジ袋に「万引き防止」や「広告」などの役割を持たせていたり、またちょっとした立ち寄りのできるお店（コンビニエンスストア等）ではお客様のニーズ（便利さ、気軽さなど）に合わせなければならない現状も見受けられます。

## 実態と推測

衛生組合管内で、レジ袋がごみ袋としてどの程度利用されているのかを調査するため、衛生組合の調査資料を参考に、管内全体の使用量を推測しました。

### < 実態 >

#### 【ごみ排出時のレジ袋使用調査】

調査対象 集積所数 : 8箇所  
世帯数 : 116世帯  
人口 : 389人

表 1

単位：枚

種類	ごみ袋の排出数			ごみ袋の中に 使用されていた レジ袋(中袋)*	ごみ袋の中に 入っていた未 使用のレジ袋
	レジ袋	レジ袋以外	レジ袋の使用割合 ( / ( + ) ) *100		
燃やせるごみ	166	154	51.8%	272	74
燃やせないごみ	106	85	55.5%	0	0
プラスチック類	104	107	49.3%	198	281
ビン・缶・ ペットボトル	60	34	*1 63.8%	6	0
有害ごみ	8	15	*2 34.8%	0	0
計	365	470	*3 43.7%	476	355

\*1 レジ袋の使用割合の高い種類：ビン・缶・ペットボトル（63.8%）

\*2 レジ袋の使用割合の低い種類：有害ごみ（34.8%）

\*3 ごみ袋にレジ袋が使用されている割合：43.7%

「燃やせるごみ」「プラスチック類」は1日分をまとめて排出するため、中袋を多く使っている状況が見られました。

しかし、「燃やせないごみ」「有害ごみ」は、月1回の収集にも関わらず排出する量が少ないことから、中袋の使用はほとんど見られませんでした。

「ビン・缶・ペットボトル」については、本体がかさむため、中袋はほとんど使用しないようです。

\* 『中袋』とは  
「ごみ袋の中で使用されている袋」のことをいいます。



## < 推測 >

### 【1世帯あたりのレジ袋使用枚数】

1週間でレジ袋が使用された枚数（表 1 参照）は、

レジ袋によるごみの排出数	(365 枚)
ごみ袋の中に使用されていたレジ袋	(476 枚)
ごみ袋の中に入っていた未使用のレジ袋	(355 枚)
+ + =1,196 枚 となります。	



次に、1日に使用されるレジ枚数は、「171 枚/日」と推測されます。

$$1,196 \text{ 枚} \div 7 \text{ 日間} = 170.9 \quad 171 \text{ 枚/日}$$

調査は116世帯が対象ですので、これを1世帯単位にすると「1.5 枚/日」と推測されます。

$$171 \text{ 枚/日} \div 116 \text{ 世帯} = 1.47 \quad 1.5 \text{ 枚/日}$$

ここから、1世帯あたり1年間では、「**548枚/年**」と推測されます。

$$1.5 \text{ 枚/回} \times 365 \text{ 日} = 547.5 \quad 548 \text{ 枚/年}$$

### 【レジ袋の年間使用量】

1世帯あたりの年間レジ袋使用枚数（548枚/年）が推測できたところで、これを基に「管内全体の1年間のレジ袋使用量」を推測します。



まず、年間レジ袋使用枚数は、「**21,168,144枚**」と推測されます。

$$548 \text{ 枚/年} \times 38,628 \text{ 世帯} = 21,168,144 \text{ 枚}$$

次に、重量は、「**約169トン**」と推測されます。

$$21,168,144 \text{ 枚} \times 8 \text{ グラム} = 169,345,152 \text{ グラム} \quad \text{約 169 トン}$$

↑  
レジ袋の1枚あたりの平均重量

レジ袋の重量は、6～10グラムとされています。

【1人あたりのレジ袋使用枚数】

管内全体の年間レジ袋使用枚数（21,168,144枚）が推測できたところで、これを基に「1人あたりの年間レジ袋使用枚数」を推測します。



$$21,168,144 \text{ 枚} \div 108,240 \text{ 人} = 195.6 \quad \underline{196 \text{ 枚/年}}$$

と推測されます。

以上のことから、

1世帯あたりの年間レジ袋使用枚数は、**548枚**

1人あたりの年間レジ袋使用枚数は、**196枚**

管内全体の年間レジ袋使用枚数は、**21,168,144枚**

管内全体の年間レジ袋使用重量は、**約169トン**

と推測されます。

『参 考』

管内の1人あたりの年間レジ袋使用枚数（196枚）を他地区と比較します。  
他地区の事例

年間1人あたりの レジ袋使用枚数	参考資料
296枚	月間廃棄物（2003.2より）
220枚	鶴ヶ島市（埼玉新聞H3.2.5より）
340枚	杉並区議員（ホームページより）
200枚	三重かんきょう通信（ホームページより）

これらの平均は264枚となり、管内の1人あたりの年間レジ袋使用枚数（196枚）は、他地区と比べて低いこととなりますが、管内全体の調査でなく、部分的な調査を基に算出しているため、実態と異なることも考えられます。

### 『豆知識 1』

レジ袋1枚を作るのに約20リットルの原油が必要と言われています。

このことから、管内全体で1年間に使用されたレジ袋(21,168,144枚)を作るのに、「423,363リットル」の原油が使われています。

$$21,168,144 \text{ 枚} \times 20 \text{ リットル} = 423,362,880 \text{ リットル} \quad 423,363 \text{ リットル}$$

ちなみに、ドラム缶に換算すると、「2,117本」となります。

$$423,363 \text{ リットル} \div 200 \text{ リットル} = 2,116.8 \quad 2,117 \text{ 本}$$



### 『豆知識 2』

プラスチック類の収集を行う場合、ごみ収集車の積載量(2ト)の約20%(400kg)しか積み込むことができないと言われています。

プラスチック類は、嵩があり重量が軽い

このことから、管内全体の1年間に使用されたレジ袋(169ト)をごみ収集車で運搬すると、「約423台」が必要となります。

$$169 \text{ ト} \div (2 \text{ ト} \times 20\%) = 422.5 \quad \text{約} 423 \text{ 台}$$



### 『豆知識 3』

衛生組合で、プラスチック類に係る処理経費は「1トあたり約81,000円」となっています。

このことから、管内全体の1年間に使用されたレジ袋(169ト)を処理するのに、「13,689,000円」が使われることとなります。

$$169 \text{ ト} \times 81,000 \text{ 円} = 13,689,000 \text{ 円}$$

処理経費については、平成13年度決算額(収集運搬費用・処理費用・手選別費用・再商品化費用)を基に算出しました。



## 不要なレジ袋は？

現在、衛生組合ではレジ袋をごみ袋として利用できるため、住民にとってレジ袋はとても便利な物となっています。



このレジ袋は、「ごみ袋など有効に利用されているレジ袋」と「そうでないレジ袋(=不要なレジ袋)」とに分けることができます。

ここでは、「有効に利用されていないレジ袋」、つまり『不要なレジ袋』を推測します。

### <考え方>

ごみ袋として利用されているレジ袋は、「有効なレジ袋」と考えられます。

まず、排出されるごみ袋が全てレジ袋だった場合を想定し、有効なレジ袋の枚数を推測します。(表 1 より)

レジ袋によるごみの排出数 (365 枚)  
レジ袋以外の袋によるごみの排出数 (470 枚)  
+ = 835 枚 となります。

次に、1日に使用されるレジ枚数は、「119枚/日」と推測されます。

$835 \text{ 枚} \div 7 \text{ 日間} = 119.3 \text{ 枚/日}$  119 枚/日

調査は116世帯が対象ですので、これを1世帯単位にすると「1.0枚/日」と推測されます。

$119 \text{ 枚/日} \div 116 \text{ 世帯} = 1.03$  1.0 枚/日

さらに、1年間に資源回収・ごみ収集が実施される回数は、

種類	使用枚数
燃やせるごみ	104回(52週×2回/週)
燃やせないごみ	12回(12月×1回/月)
プラスチック類	52回(52週×1回/週)
ビン・缶・ペットボトル	52回(52週×1回/週)
有害ごみ(乾電池、ライター、スプレー缶)	36回(12月×1回/月×3種類)

合計 256回となります。



まずここで、1日あたりのレジ袋使用枚数(1.0枚/日)が推測されていることから、1世帯あたりの1年間に必要なレジ袋の枚数は、「256枚」と推測されます。

$$1.0 \text{ 枚/日} \times 256 \text{ 回} = 256 \text{ 枚}$$

ここから、管内全体で1年間に必要なレジ袋の枚数は、「9,888,768枚」と推測されます。

$$256 \text{ 枚/年} \times 38,628 \text{ 世帯} = 9,888,768 \text{ 枚}$$

以上のことから、「管内全体の年間レジ袋使用枚数(21,168,144枚)」から、「管内全体で1年間に必要なレジ袋の枚数(9,888,768枚)」を引くと、



不要なレジ袋の枚数は、11,279,376枚と推測されます。

$$21,168,144 \text{ 枚} - 9,888,768 \text{ 枚} = 11,279,376 \text{ 枚}$$

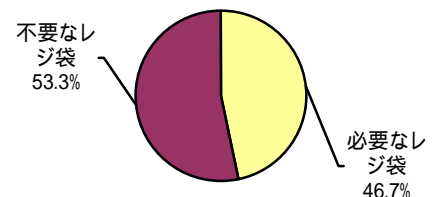


また、重量は、約90トンと推測されます。

$$11,279,376 \text{ 枚} \times 8 \text{ グラム} = 90,235,008 \text{ グラム} \quad \text{約90トン}$$

この数値は、管内全体の年間レジ袋使用枚数(21,168,144枚)の「約53.3%」に相当にします。

よって、不要なレジ袋の削減を進めた場合、半数以上の数値を削減できると考えられます。



これらを基に、1年間で1世帯が出す不要なレジ袋の枚数は、「292枚」と推測されます。

$$11,279,376 \text{ 枚/年} \div 38,628 \text{ 世帯} = 292 \text{ 枚}$$

## レジ袋の削減量

不要なレジ袋を全てなくすことは、現実的に困難であると考えられますので、徐々に不要なレジ袋の削減を進めていくことが必要と考えられます。

そこで、仮に「1人が1週間に1枚レジ袋を削減した場合」と「1人が1週間に2枚レジ袋を削減した場合」の2通りを推測してみました。

### (1) 1人が1週間に1枚レジ袋を削減した場合

削減できる枚数は、**5,628,480枚**と推測されます。

$$52 \text{ 週/年} \times 1 \text{ 枚/人} \times 108,240 \text{ 人} = 5,628,480 \text{ 枚}$$

また、重量は、**約45トン**と推測されます。

$$5,628,480 \text{ 枚} \times 8 \text{ グラム} = 45,027,840 \text{ グラム} \quad \text{約45トン}$$

これを原油換算しますと、「112,570㍓」となります。

$$5,628,480 \text{ 枚} \times 20 \text{ ミリ㍓} = 112,569,600 \text{ ミリ㍓} \quad 112,570 \text{ ㍓}$$



ドラム缶(1本=200㍓)に換算しますと、「約563本」となります。

$$112,570 \text{ ㍓} \div 200 \text{ ㍓} = 562.9 \quad \text{約563本}$$



ゴミ収集車(2㍓×20%)に換算しますと、「約113台」となります。

$$45 \text{ ㍓} \div (2 \text{ ㍓} \times 20\%) = 112.5 \quad \text{約113台}$$

### (2) 1人が1週間に2枚レジ袋を削減した場合

削減できる枚数は、**11,256,960枚**と推測されます。

$$52 \text{ 週/年} \times 2 \text{ 枚/人} \times 108,240 \text{ 人} = 11,256,960 \text{ 枚}$$

また、重量は、**約90トン**と推測されます。

$$11,256,960 \text{ 枚} \times 8 \text{ グラム} = 90,055,680 \text{ グラム} \quad \text{約90トン}$$

これを原油換算しますと、「約281,984㍓」となります。

$$11,256,960 \text{ 枚} \times 20 \text{ ミリ㍓} = 225,139,200 \text{ ミリ㍓} \quad \text{約} 225,139 \text{ ㍓}$$



ドラム缶(1本=200㍓)に換算しますと、「約1,410本」となります。

$$225,139 \text{ ㍓} \div 200 \text{ ㍓} = 1125.7 \text{ 本} \quad \text{約} 1,126 \text{ 本}$$



ごみ収集車(2㍓×20%)に換算しますと、「約283台」となります。

$$90 \text{ ㍓} \div (2 \text{ ㍓} \times 20\%) = 225 \text{ 台}$$

これらの数値はあくまでも推測の数値ですが、1人が1週間に2枚、レジ袋を削減することができれば、不要なレジ袋を減らすことができます。

## < 検討結果 >

当委員会にて調査した結果、レジ袋の削減に伴うマイバッグ（買物袋）普及運動については、地域的ではあるものの全国的な広まりを見せているようです。

「ごみの減量化」は、「消費者」「商店」「行政」が協力し合わなければ成功しませんし、これまでのライフスタイルを少なからず変えていかなければなりませんので、いかに「ごみの減量化（＝レジ袋の削減）」を生活に定着させるかを考えていかなければならないと思います。このライフスタイルの見直しには、商店や行政の力よりも、消費者自らの積極的な行動なくしては、成功はあり得ません。

そこで、マイバッグの普及を進めるための方法をまとめました。

### 宣伝（PR）活動

#### <消費者>

- ・「家族の人」や「近所の人」などに、この運動の主旨を説明し、マイバッグ持参、または不要なレジ袋を断ることを薦める。

#### <商店>

- ・「のぼり旗」「ポスター」等を作成し、店頭に掲げる。
- ・マイバッグ持参者へのキャンペーン（ポイントサービス等）を実施する。
- ・全国チェーンストア協会で作成している「レジ袋不用カード」の普及を図る。

#### <行政>

- ・「のぼり旗」「ポスター」等を作成し、公共施設等に掲げる。（また商店等に掲示をお願いする。）
- ・「衛生組合だより」にて、PRを行う。
- ・パンフレットを作り、全家庭に配布する。
- ・マイバッグ持参運動の協力店を募集し、どんな運動を行っているか、またどのようなサービスがあるかを広報紙等にて紹介する。
- ・管内のイベント等に参加し、PRを行う。
- ・レジ袋の削減は何のために行うのかを説明する。

### 環境づくり

#### <消費者>

- ・買物時に必要なレジ袋だけをもらい、不要なレジ袋は断る。
- ・小さな買物、ちょっとした買物の時は、レジ袋をもらわない。
- ・出掛けるときには、必ずマイバッグを持参する。（出掛ける前の確認）
- ・小さくたためるバッグ等を常に持ち歩く。
- ・レジ袋を何度も使う工夫をする。

#### < 商 店 >

- ・小さな物を買物された場合は、シール等で対応する。
- ・レジを複数設置しているお店は、レジ袋不要の専用レジを設ける。
- ・レジ袋が必要か、不要が消費者に確認する。
- ・過剰にレジ袋を配布しない。

#### < 行 政 >

- ・「市、町の関係課」「商工会」等へ協力を呼び掛ける。
- ・商工会等へポイントカード等の共通化を呼び掛ける。
- ・レジ袋の有料化を商工会等と協議を行い要請する。
- ・商工会、商店、消費者と共同して、ノーレジ袋デーを実施する。
- ・学校を通じてごみ減量化の教育を行う。

#### 検討課題

##### < レジ袋の役割について >

レジ袋には「消費者へのサービス」「店舗の広告」、また「万引き防止」などの役割があるようです。

この問題は主に、商店側の問題ではありますが、商店の収益等に係る問題となりますので、検討をする必要があると思います。

##### < 管内の共通制度について >

他の自治体や商工会等を調査した結果、「静岡県磐田市の環境チケット」や「愛知県豊田市の共通シール」は、マイバッグの持参率を上昇させた実績がありますので、他の事例等も含めながら検討をする必要があると思います。

##### < レジ袋の有料化について >

レジ袋の有料化の本来の目的は、単なるごみの減量だけでなく、消費者の意識改革を主としたものであり、一部の商店にてレジ袋の有料化を実施していますが、これは消費者の意識改革に加え、環境を考えた上での行動と思います。

これまで習慣となってきた行動（レジ袋の無料配布）を改善するためのひとつの方法として検討をする必要があると思います。

マイバッグの普及によるレジ袋の削減は、「消費者」「商店」「行政」が協働することにより、その輪が広がり、運動の継続に繋がります。

中でも、「消費者」がこの運動の主役であることから、消費者自らが現状の生活スタイルを「環境にやさしい生活スタイル」に変えることが重要と思われます。

この報告書は、当委員会の考えではありますが、この検討結果が衛生組合の具体的な行動計画に反映され、また住民の意識改革により、ごみの減量化、資源化が向上することを期待します。

## レジ袋を削減すると...

マイバッグの普及（レジ袋の削減）をしたとき、「消費者」「商店」「行政」にとって以下のような利点があります。

### 【消費者】

- ・ごみ減量への自覚が生まれ、環境意識が向上する。
- ・子供へ環境問題について教育ができる。
- ・レジ袋を家庭に持ち込まないので、ごみを減らすことができる。
- ・計画的な買物をするにより、生活費の削減が期待できる。
- ・お店によっては、サービスの提供を受けられる。



### 【商店】

- ・消費者に、環境意識への認識を持たせることが期待できる。
- ・環境に優しいお店として、イメージアップとなる。
- ・固定したお客を作ることができる。
- ・レジ袋の購入費用が削減できる。



### 【行政】

- ・消費者やお店の環境意識の向上が期待できる。
- ・ごみ問題に関心が高まり、総体的なごみ減量が期待できる。
- ・資源の無駄遣いが減少し、環境負荷の低減ができる。
- ・プラスチック類の減量になる。
- ・処理経費の軽減が図れる。



## 【マイバッグ普及検討委員会の活動経過】

第1回（委嘱式）（平成14年5月24日）

久喜宮代衛生組合管理者より、委嘱状の交付がありました。また、委員会をまとめあげるための委員長及び副委員長を選出し、今後の進め方について検討しました。



委嘱式の様子

第2回（平成14年6月20日）

円滑な検討を行うために、委員会を「普及検討グループ」「レジ袋実態調査グループ」の2グループに分け、検討することとなりました。

### 【普及検討グループ】

マイバッグの利用を広めて行くためには、住民・事業者・行政はどんな取り組みをすべきか、またマイバッグ普及のための方法などについて検討するグループ

### 【レジ袋実態調査グループ】


「お客様」及び「お店」が、レジ袋やマイバッグに対し、どのような考えをもっているかなどを把握し、マイバッグ普及検討にあたっての基礎資料をまとめるグループ

第3回（平成14年7月24日）

『久喜市七夕祭り（8月6日）』と『宮代町民祭り（8月24日）』にて、「買物の際には、マイバッグを持参してもらおう！」と、トイレットペーパー（100%再生紙使用）に、マイバッグの普及を促すチラシを巻き付け、各々500個ずつ配布することでマイバッグの持参を呼び掛けることを決定しました。

また、マイバッグやレジ袋の実態を把握するための現地調査を実施することを決定しました。

一人ひとりにできるごみ減量  
～マイバッグ運動実施中～  
お買物に行くときは、自分のバッグを持って、レジ袋をもらわないようにしましょう！



久喜宮代衛生組合  
マイバッグ普及検討委員会

トイレットペーパーに  
巻いたチラシ

第1回実態調査（平成14年8月2日～10日）  
マイバッグの実態を把握するために、「マイバッグ（買物袋）」という言葉を知っている人数」と「レジ袋をもらわないでレジを通過した人数」について、お店の協力をいただき、2名1組で現地調査を行いました。

実態調査の様子



久喜市七夕祭り（平成14年8月6日）  
宮代町民祭り（平成14年8月24日）  
「買物の際には、マイバッグを持参してもらおう!」と、雑誌からリサイクルしたトイレットペーパーに、マイバッグの普及を促すチラシを巻き付け、各々500個ずつ配布しました。



宮代町民祭りの様子

第4回（平成14年8月29日）  
過日実施いたしました『久喜市七夕祭り』と『宮代町民祭り』での、マイバッグの呼び掛けについて報告を行いました。  
また、6店舗の協力を得て実施しましたマイバッグ等に関する実態調査では、「レジ袋をもらわなかった人は、平均で12.8%」、「マイバッグという言葉を知っている人は、平均で76.4%」という結果を得ることができました。

第5回（平成14年9月18日）  
マイバッグの普及に向けて、グループ毎に検討を行いました。

#### 『普及促進グループ』

マイバッグの普及を促進していくためには、住民・行政・事業者がそれぞれ「どのような役割を持つことが必要か」の検討を行いました。

#### 『レジ袋実態調査グループ』

マイバッグやレジ袋等の実態や考え方を把握するために、「お客様側」と「お店側」それぞれの視点にたった意見をお聞きするためのアンケート調査について、内容や方法について検討を行いました。

第6回（平成14年10月16日）  
前回の検討を受け、アンケート調査の内容及び方法について検討を行いました。  
結果、「お客様側」については「久喜市民まつり」と「宮代ふるさと祭り」などを利用し、「お店側」については「商工会女性部の協力」と「郵送」により調査することとなりました。

久喜市民まつり（平成14年10月20日）  
宮代町ふるさと祭（平成14年11月8日）  
マイバッグやレジ袋等の実態や考え方を把握するために、「お客様」の意見をお聞きするための実態調査を行いました。



宮代町ふるさと祭の様子

店舗への実態調査の要請（平成14年10月30日～11月15日）  
「お客様」だけでなく「お店」の意見もお聞きするため、個人商店については商工会の協力を、また大型店等については郵送により配布・回収を行いました。

第7回（平成14年11月20日）  
過日実施しました「マイバッグに関する実態調査」について、集計結果の概要を報告しました。

報告後、実態調査の報告書を作成するにあたっての考察や解析などの事項について、検討を行いました。

第8回（平成14年12月11日）

グループ毎に検討を行いました。

『普及促進グループ』

PR活動のひとつとして、久喜市で開催される「まなびすと久喜（2月2日）」に参加するための内容の検討を行いました。

『レジ袋実態調査グループ』

アンケート調査の結果をまとめた「レジ袋及びマイバッグに関する実態調査報告書（案）」について、内容の検討と確認を行いました。

第9回（平成15年1月29日）

前回に引続き、グループ毎に検討を行いました。

『普及促進グループ』

「まなびすと久喜」に参加するための内容の検討と確認を行いました。

『レジ袋実態調査グループ』

「レジ袋及びマイバッグに関する実態調査報告書（案）」について、内容の検討と確認を行いました。



検討の様子

まなびすと久喜（平成15年2月2日）  
マイバッグへの認識度を高めてもらうために、実際委員が利用しているマイバッグの紹介や普及していくためにはどのようにしたらよいかご意見を聴取する場を設け、普及に対しての呼び掛けを行いました。



まなびすと久喜の様子

第10回（平成15年2月27日）  
グループ毎に検討を行った後、委員会としてのまとめを作成するための検討を行いました。

『普及促進グループ』

グループとしての検討報告（案）の検討を行いました。

『レジ袋実態調査グループ』

「レジ袋及びマイバッグに関する実態調査報告書（案）」について、最終確認を行いました。

第11回（平成15年3月19日）  
委員会としてのまとめを作成するために、（案）を基に検討を行いました。

第12回（平成15年4月9日）  
前回に引続き検討を行い、委員会報告書をまとめあげました。



## 【マイバッグ普及検討委員会名簿】

<委員長> 矢野裕美(久喜市)

<副委員長> 保科 好 (普及促進グループリーダー)(久喜市)

戸室美代子(レジ袋実態調査グループリーダー)(宮代町)

<普及促進グループ>

青木加寿子(宮代町)

大木清子(久喜市)

黒須富雄(久喜市)

酒井千晶(久喜市)

白石善子(久喜市)

関口富子(久喜市)

武井節子(久喜市)

<レジ袋実態調査グループ>

内田和子(久喜市)

神谷トシエ(久喜市)

栗田高明(久喜市)

後藤悦子(久喜市)

高山綾子(久喜市)

野口玲子(宮代町)

中島ゆう子(宮代町)

松本利子(久喜市)

武笠吉夫(宮代町)

渡辺和子(久喜市)

(敬称略、順不同)

<事務局>

久喜宮代衛生組合 総務課減量推進係